





同・玄関（朝）  
優子と光一、靴を履いて出て行く。  
靴箱の横には、大きな置きかたの薄いピンク色の



住宅街（朝）  
光一、リュックを背負い、傘をさして歩  
いてゐる。優子、小さな鞆を肩から  
その横では、雨足は強い。  
かけ、傘をさして歩いている。  
会話は無く、雨足は強い。



△△駅・2番ホーム（朝）  
優子と光。1、電車待ちの列に並んで、立  
つてゐる。2人の背後を高校生のカップル、  
すり過ぎる。2人。優子の高校生のカッ  
くのをみる。の。カップルが通り過ぎて行  
スマホを見る。腕に手を回そうとすると、  
優子、光。1。もうとすると、  
ム内ア、光。1。もうとすると、  
8時3分、発快速○  
○行き、まもなく到着

ホ  
ー

優子、腕を引っ込める。  
光一、ポケットにスマホを入れ、鞆を前に背負う。  
二人、多いかな？  
少どろいかな？  
「バス間が空き、」  
「1時18分」  
「電車、駅に入ってくる。」

優光 光優  
子一 一子

□人□水  
は、少ないの館内。  
光一と優子の力になる。クラゲの水槽の前で、横並びになっ  
ている。



同  
・  
前



